



★お弁当特集号★

入園から3週間が経ち、年少組の子どもたちも少しずつ園生活の流れがわかるようになってきました。連休中も生活のリズムを崩さないように気を付けながら、ご家族で楽しくお過ごしください。さて、5月13日（木）より、いよいよ弁当が始まります。子どもたちはお家の方が作ってくれるお弁当を幼稚園で食べることを楽しみにしていることでしょう。食事のマナーや手洗い・うがい等の準備の手順を知らせながら、学級のみんなで食べる楽しさを感じられるようにしていきたいと思えます。

弁当が始まるにあたり、お子さんが手順や方法を身に付けられるように、ご家庭に下記のようにご協力頂きたいと思えます。どうぞよろしくお願ひいたします。

～3歳児の弁当指導のわらい～

☆学級のみんなで食事をする楽しさを味わう。

- ・食事のマナーを知る。
- ・自分で弁当の準備や片付けをする。
- ・お家の方の作ってくれたお弁当を食べることに期待をもつ。

☆弁当を残さずに食べきる喜びを感じる。

- ・フォーク・スプーンを使って自分で食べる。

～ご家庭でご協力頂きたいこと～

- ① 「全部食べられた!」「美味しかった」と完食する喜びが感じられるように、お子さんの食べ慣れている物や食べやすい物を中心に少なめに入れてください。
- ② 安全の為、爪楊枝やピックは使わないでください。
- ③ 弁当は食事です。菓子パンやヨーグルト、ゼリー等は入れないでください。
- ④ ふりかけを使用する場合は袋ごと持たせず、ご家庭でかけてきてください。
- ⑤ 弁当用品については、『たのしいあかしようちえん (p16)』をご覧ください。また、弁当箱をゴムバンドでとめることや弁当袋への出し入れなどをお子さんと一緒に試してみ、お子さんが自分で扱いやすい物を用意してください。
- ⑥ 持ち物に名前とマークが書いてあるか確認してください。(弁当箱の蓋と本体、ゴムバンド、スプーン、フォーク、スプーンやフォークのケース、ランチョンマット、おしぼり、おしぼりの袋、弁当袋)

～その他～

- ・水曜日は午前保育です。弁当はありません。
- ・弁当時は麦茶を用意します。(教材費から支出します)
- ・一人一人に声をかけ、手順を確認しながら弁当の準備や片付けの仕方を伝えていきます。また、完食できた、と感じられることも大切にしていきたいと考えています。お子さんが「もっと食べたい」「少なすぎる」と言っても、弁当箱にぎっしり大きなおにぎりやパンを入れることはご遠慮ください。
- ・しばらくの間は量が足りなくても、ご家庭でおやつや軽食で補ってください。13:50降園となる6月頃より徐々に量を増やしていただけたら、と考えています。
- ・弁当箱にデザートのお菓子をを入れるのも、6月後半頃からはしてください。
- ・箸、スプーン、フォークの3点セットは扱いにくいので、持たせないで下さい。
- ・ランチョンマットは、お弁当袋の一番上に入れて下さい。(準備の際、一番最初に取り出し、テーブルの上に敷くためです。)
- ・完全に冷めてから蓋をするようにしてください。
- ・完全に熱を通した物を入れて下さい。

※裏面に続きます

～弁当の内容について～

期間	弁当の内容
5月13日 (木) ~ 5月20日 (木)	<p>○弁当箱に、お子さんが食べやすい大きさ(ゴルフボール大)のおにぎりを2個か3個程度(多くても3個まで)を入れてください。</p> <p>ご家庭で食べている様子を目安に、5～10分程度で食べ終わる量にしてください。</p> <p>○フォーク、スプーンはいりません。</p> <p>○おかずはいれないでください。</p> <p>◎中で転がっても構いませんので、<u>大きなおにぎりにしたり、詰めすぎたりしないように</u>お願いします。</p>
5月21日 (金) ~	<p>○おにぎり(ゴルフボール大)と、お子さんが好きなおかずを食べやすい大きさにして入れてください。(サンドイッチでも可)</p> <p>ご家庭で食べている様子を目安に、10～15分程度くらいで食べ終わる量にしてください。</p> <p>○おかずを入れる場合は、フォークを持たせてください。</p>

★おにぎりは、ラップに包まない方が、食べやすいようです。カップには入れても、入れなくても構いません。中で転がってしまっても大丈夫です！

★こぼれにくい物、食べやすいものをご準備下さい。全面ののりや、鮭は、こぼれやすいです。